

地域情報誌
2012年10月
(No5)

DE す が ね

〈編集・発行〉 生きがいのある須金をつくる会



(写真 上：須金フルーツダンス 左下：なし・ぶどう祭り会場 右下：梨無料配布)

第30回須金なし・ぶどう祭 大盛況！！

8月25日（土）に第30回須金なし・ぶどう祭が開催されました。

今年の見玉は、なんといっても須金フルーツダンスコンテスト！山口県内から12チームのちびっこダンサーが集まり、熱いダンスバトルを繰り広げました。

そんな華やかな戦いの前哨戦として、須磨小っ子と4歳児と保護者で「いこうよ須金」の歌に乗せたダンスを披露しました。昨年須金の観光PRのため作詞作曲したこの曲に、今年須田加弥子さんの指導で須金フルーツダンサーズが誕生。これからメジャーデビューを目指して活動を広げていきます。

バザーは今年も大盛況。どれもおいしくみんなお腹いっぱい。なかでも空飛ぶピザは噂になっているそうです。

これも地域の皆さんが支えてくれているからこそ出来るイベントです。感謝感謝。

それではまた来年よろしくお願ひします。（文／福田陽一）

人物紹介 -倉光タケヨさん-



写真上：お元気な倉光さん

写真下：サロン寿会にて（前列中）

Q1) 和紙振興協議会、老人クラブ、サロン寿会と、精力的に活動されています。元気の源は何でしょうか？

A1) 毎日の散歩と魚を食べること。あと、少量のビールですね。（笑）

Q2) 看護師として長年お勤めをされていました。思い出を聞かせてください。

A2) 昭和13年4月に徳山医師会の看護婦養成所を卒業し、看護師、保健師、助産師として昭和55年まで、42年間勤めました。

昭和24年には、戦争から復員された方々の影響もあり、須金診療所で1年間に123人もの赤ちゃんが生まれました。やはり赤ちゃんが生まれたときはとても嬉しかったですよ。

Q3) 戦中、戦後と大変な時代をご経験されました。

A3) 看護師になったばかりの昭和13年10月に北京陸軍病院に派遣されました。山口県から47名が派遣され、門司港から3泊4日かけて北京に向かいましたが、荒波で船酔いしたことをよく覚えています。3500人を収容する病院では、特にコレラ、マラリアといった伝染病に苦しむ兵隊さんを看護しました。本当に大変な時代だったですね。

戦後は、東京で仕事をする話もありましたが、母から須金に戻るよう勧められ故郷に戻りました。

Q4) 故郷での暮らしは？

A4) 看護師として仕事も続けられましたし、母とも一緒に暮らせ、親孝行ができたと思います。母が亡くなった86歳までは生きようと考えていましたが、いつの間にか越えていました。（笑）

Q5) 須金はどんなところですか？

A5) 純朴な方ばかりで、私自身、地区の皆さんには本当に大事にしてもらっています。住みよく、大好きな故郷です。

（インタビュー：須金公民館 周山健太郎）

周南市消費生活センターからお知らせ「身に覚えのない封書が届いたら気をつけて！」

最近「告発状」「内容確認通知」といった封書が届く事案がありました。内容は、料金が未納のため裁判所へ訴える手続きをとるから、その前に連絡するようというもの。業者の手口としては、消費者の不安をあおり、連絡をさせようとしています。そんな時は「何かの間違いでは」「ひよっとすると…」と思い、連絡を取らないでください。連絡をさせようとするのが目的で、その後、頻りに電話が掛かったりします。

一人で悩まず、すぐに消費生活センターや警察に相談することが重要です。（文／広実文博）

懐かし写真館

「小学校朝の会」

撮影年月

昭和29年（1954年）11月

今月から始まった新コーナー。須金にまつわる懐かしい写真を紹介していきます。

第1回目は昭和29年の小学校の風景。ちょうど新校舎・体育館を建設中。この頃は、小学校も生徒数がこんなに多かったのですね。



“しゅうなんメールサービス” に登録しましょう！

市では、様々な情報のメール配信サービスを行っています。是非、ご登録ください！（サービス利用料は無料。通信料は利用者負担。）操作方法が分からない方は、携帯電話を持参して支所までお越しください。

- ①災害緊急時の情報 ②市からのお知らせ ③気象情報
- ④不審者情報 ⑤子育て情報 ⑥学び情報 など

※①と②以外は、配信情報を選択できます。

★登録方法

- ・登録用アドレス shunan@xpressmail.jp へ空メールを送信
- ・市から登録メールが送られてきます
- ・お住まいの地域と配信情報を選択して、登録確認、登録をクリックして完了

—ご不明な点は須金公民館（86-2201）までご連絡ください—



須金フルーツランドだより

10月になると農園は一段落。ぶどうは残り少々、梨は晩生品種へと移り変わります。

梨の晩生といえば、晩三吉、新興、新高、豊月など実はいろいろと種類があるんです。どれもでっかーい梨ばかり。朝晩が寒くて冷え込むこの時期だからこそ、甘みがぎゅーっと濃縮された、おいしくてみずみずしい梨が味わえるのです。

のんびりと静かな農園でゆっくり味わいながら、そんな梨をどうぞ召し上がれ。
(文/福田陽一)

須金地区主な行事予定（10～11月）

10月

- 10月 7日（日）それーねの日
- 10月13日（土）やまびこ号巡回日（須磨小）
運動会準備13：00～
- 10月14日（日）須金地小学校・
市民合同大運動会
- 10月22日（月）コミュニティ理事会
- 10月30日（火）やまびこ号巡回日（須磨小）

11月

- 11月 4日（日）ふれあい文化祭
復活！須金市日
- 11月11日（日）もみじパーク草刈り
それーねの日
- 11月17日（土）やまびこ号巡回日（須磨小）
- 11月19日（月）コミュニティ理事会

「掲示板」

★須金の懐かしい写真募集！

今月から始まった新コーナー「懐かし写真館」で紹介する写真を募集します。

★須金市日（11月4日）開催にご協力お願いします。通りをご自宅のプランターや鉢で飾りましょう。また、野菜等の農産物を販売したい方を募集しています。

ご連絡は須金公民館 周山（すやま）まで

TEL 0834-86-2201 / FAX 0834-86-2145

須金せせらぎ短歌会～今月の歌～

☆ 俄雨は気配のみにて雷鳴も
次第遠のき暑き青空

舞田福恵

※DE すがね無料メール配信

メールでもこの情報紙は読めます！申し込み方法はdesugane@gmail.comへ配信希望と書いたメールをするだけ。励ましや感想もこのメールアドレスで受け付けています。

須金で育て、いま全国でがんばっている皆さんの元へ届けましょう！



特別連載 須金歴史探訪

カッパの詫び証文

文 高橋 勝己

文明11年（1479）の夏、鶴岡春重の馬を中原の河原につないでいたところ、川の中から二匹のカッパが現れ、その馬を川の中に引きずり込もうとつないでいた綱をはずし引っぱり始めました。しかし、びっくりした馬は小屋の中へ逃げ込み、一匹のカッパが馬に引かれ、一緒に閉じ込められてしまいました。そのカッパを捕らえた春重は、証文をしたため、かっぱの手判を押ししました。また、榎を一本植え、そのカッパに筆をとらせ、札に「猿猴（えんこう）来植是」と書かせて、その木に掛けたそうです。

鶴岡家には今もこの証文が残されているそうです。また、中原にある深い淵は「猿猴の釜」とつい最近まで呼ばれていました。

ちなみに猿猴はカッパの別の呼び名です



写真：中原の堰堤と桜

編集後記

実りの秋。普段は静かな須金も、この季節にはたくさんの人達が果物狩りに訪れます。そして、私がここ須金に移住したのも、去年のちょうどこの時期でした。

須金の魅力にどっぷり浸り、また同時にたくさんの人達との出会いに支えられた素晴らしい1年でした。

今後もよろしく願いいたします！

（須田浩史）